

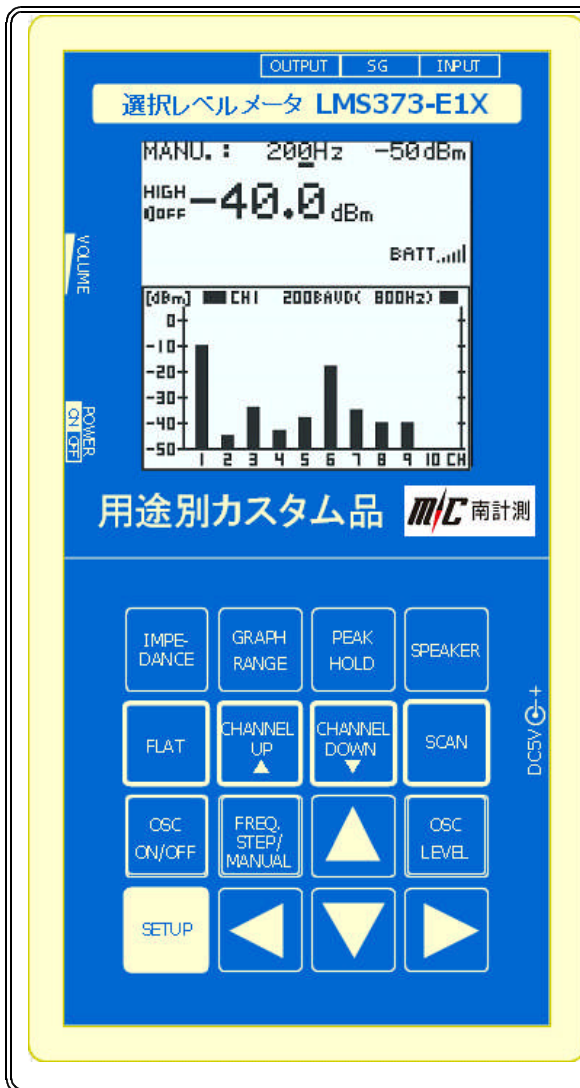
選択レベルメータ (電力TM・TC用)

LMS373-E15

電力TM・TC装置に必要なBPFを9チャンネル搭載しました。

選択レベル計にフラット・レベル計を搭載、1台で2役。
発振器、周波数カウンタ及び直流電圧計を搭載しました。

既設の専用線及び加入線の障害追跡、定期点検に威力を発揮します。



デジタル化による小型・軽量化！

レベル測定値は数値とグラフ同時表示！

レベル測定最大値は+30dBm
レベル測定最低値は-70dBmまでに
拡大・・・用途も拡大！

フラット・レベル測定周波数範囲は
200Hz～30kHz

測定はレベルと直流電圧
及び周波数カウンタ
同時測定！

選択レベル測定にスキャン機能を搭載！

ハンディタイプ！

簡単操作！

乾電池（充電電池）
動作！

低価格！

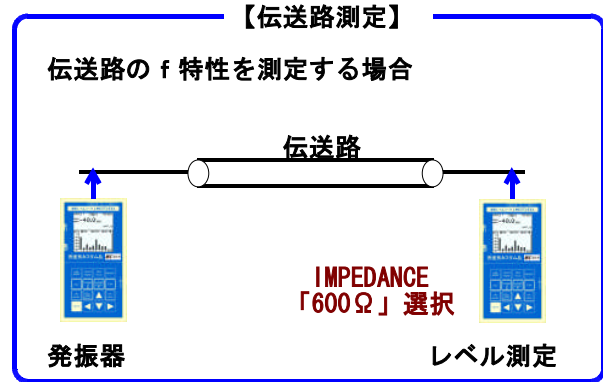
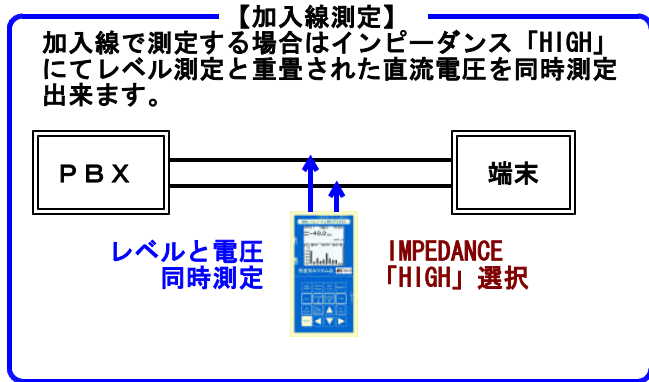
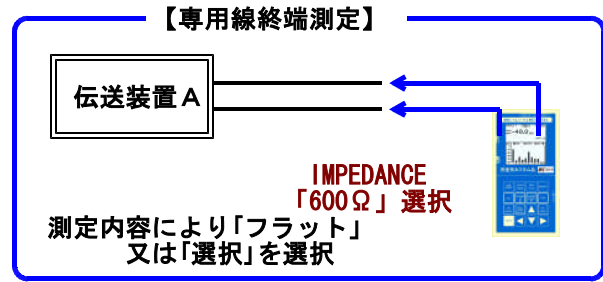
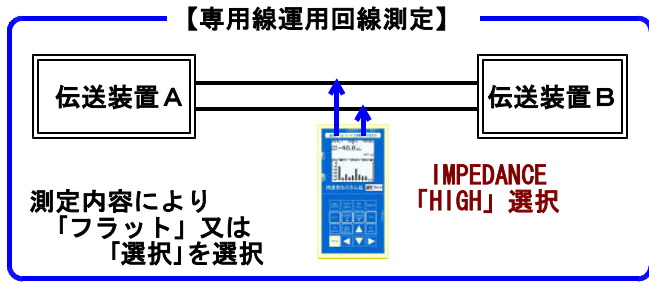


■ 特 長

- ◆電力関連で使用されるTM・TC装置のメンテナンスに必要なバンドパス・フィルタを高群(200、600、1200Baud)9チャンネル搭載しました。
- ◆選択チャンネルの信号有り無しを簡単に把握できるよう「スキャン機能」搭載しました。
- ◆「デジタル化」の欠点である低速化を演算ロジック採用によりメータ式測定器に劣らない応答性を実現。
- ◆回線に重畳した直流電圧を、測定端子の切替を行わず同時に測定しますので作業効率が大変良くなります。
- ◆測定値の表示は数値表示と時間変化に伴う変動を把握しやすいグラフ表示も同時に表示しますのでアナログ・メータ式レベル計の代替品として使用出来ます。
- ◆測定値は見やすい「バックライト付きLCD」を採用、暗い所でも大変見やすくなっています。
- ◆発振周波数設定が1Hz単位で設定可能、選択チャンネルの中心周波数も選択可能で用途が広範囲になります。
- ◆「電源電圧」及び「温度」を常時監視し、アラームを知らせますので安心して使えます。
- ◆電源は乾電池（充電電池）の他、ACアダプタでも使用できます。

■ 使用例

専用線で測定する場合、運用回線に接続する場合はインピーダンス「HIGH」を、終端測定する場合は「600Ω」を選択します。



■ 操作部説明

OSC出力端子 GND端子 測定端子

ボリューム
音モニター用

電源スイッチ

グラフィック切替SW

SW押下毎に以下の指定

- ①+30dBm ←
- ②+20dBm
- ③+100dBm
- ④ 0dBm
- ⑤-10dBm
- ⑥-20dBm

入力インピーダンス切替SW
HIGH/600Ω選択用

フラットレベル測定SW
フラットレベル測定用

選択チャンネルアップSW
選択チャンネル指定用

OSC ON/OFF切替SW

OSC周波数選択SW
MANUAL/STEP1/STEP2/STEP3選択用

SW押下毎に以下の指定

- ①MANUAL ←
- ②STEP1
- ③STEP2
- ④STEP3

バックライト付きLCD
測定結果等を表示します。
(詳細は画面説明参照)

ピークホールド切替SW
測定レベル値の最高・最低値のリスタート用

スピーカ切替SW
スピーカON/OFF切替用

選択チャンネルダウンSW
選択チャンネル指定用

スキャン選択SW
選択チャンネルのスキャン指定用

ACアダプタ端子

OSCレベル選択SW
OSCの出力レベルを変更する場合に使用

OSC関連設定SW
OSCの出力周波数及びレベルを設定する場合使用

SETUP要求SW
SETUP画面を表示

OUTPUT SG INPUT

選択レベルメータ LMS373-E1X

MANU.: 200Hz -50dBm

HIGH OFF -40.0 dBm

BATT. full

[dBm] CH1 200BAUDC 800Hz

用途別カスタム品 M/C 南計測

IMPE-DANCE GRAPH RANGE PEAK HOLD SPEAKER

FLAT CHANNEL UP CHANNEL DOWN SCAN

OSC ON/OFF FREQ. STEP/MANUAL OSC LEVEL

SETUP

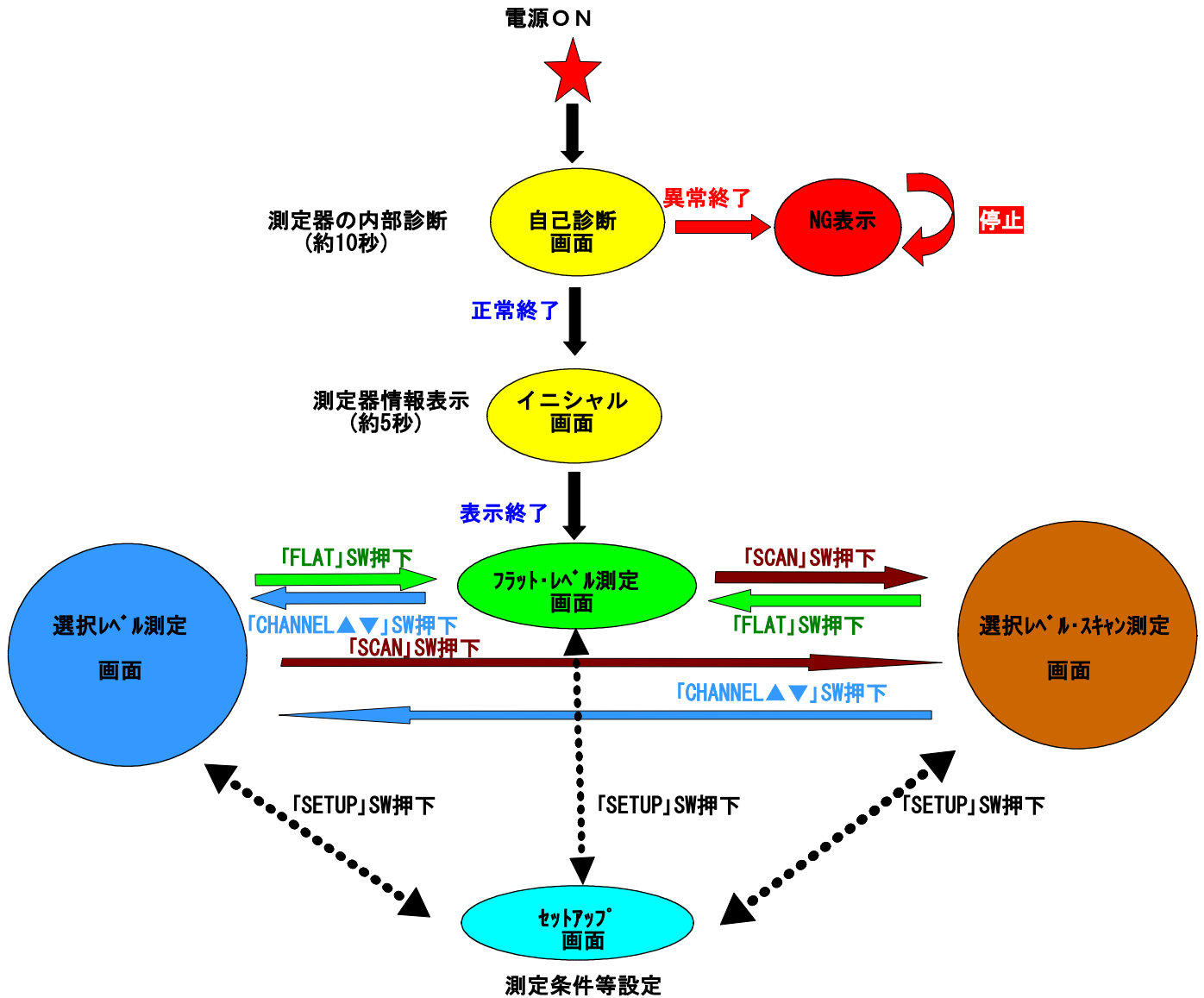
POWER ON/OFF

VOLUME

DC5V+

■ 画面説明

本測定器が有する画面は以下に示す7画面であり、その画面遷移は以下の通りです。



◆ 「自己診断」画面

電源立ち上げ時に表示する画面で測定器の内部診断を行います。 所要時間約10秒

SELF TEST		
①	TEMP. RANGE 04AB	OK
	POWER WATCH 0097	OK
③	KEYPAD TEST	OK
⑤	RAM R/W TEST	OK
	Ver. 276S2 273S2	OK
	A/D OFFSET 003B	OK
⑦	0-ADJ +30dBm 0011	OK
⑨	0-ADJ +18dBm 0011	OK
	0-ADJ +6dBm 0011	OK
	0-ADJ -6dBm 0011	OK
⑪	0-ADJ -18dBm 0011	OK
⑬	0-ADJ -30dBm 0011	OK
	0-ADJ DCV FF3A	OK

- ① 温度異常チェック
- ② 電源異常チェック
- ③ キーパッド・チェック
- ④ CPU内RAMチェック
- ⑤ デュアルCPU動作チェック
- ⑥ A/Dコンバータ補正チェック
- ⑦ レベル0調チェック+30dBmレンジ
- ⑧ レベル0調チェック+18dBmレンジ
- ⑨ レベル0調チェック+6dBmレンジ
- ⑩ レベル0調チェック-6dBmレンジ
- ⑪ レベル0調チェック-18dBmレンジ
- ⑫ レベル0調チェック-30dBmレンジ
- ⑬ 直流電圧0調チェック

◆ 「イニシャル」画面

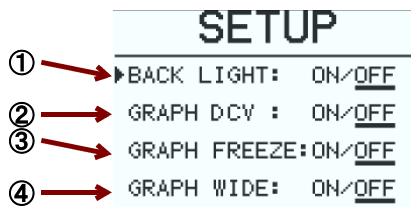
自己診断後表示される画面で製品の情報を表示し、測定画面に移行します。 所要時間約5秒

①	LMS373-E15	By MIC
②	Serial No. :	13100001
③	Ver. (M-CPU) :	1.23
	(S-CPU) :	276S2
	(LOGIC) :	273S2
④	Use Time :	000000:00
⑤	Calibrate :	2012:11
		:YYYY:MM
		:YYYY:MM
		:YYYY:MM

- ① 製品形名と副番を表示
- ② 製品のシリアルNO. 表示
- ③ 「2台のプログラム」及び「ロジック」バージョン表示
- ④ 使用時間表示 (時:分)
- ⑤ 製品の校正履歴表示 (年:月)

◆「セットアップ」画面

「SETUP」SWを押下する事により表示される画面で測定器の測定条件等を設定出来ます。

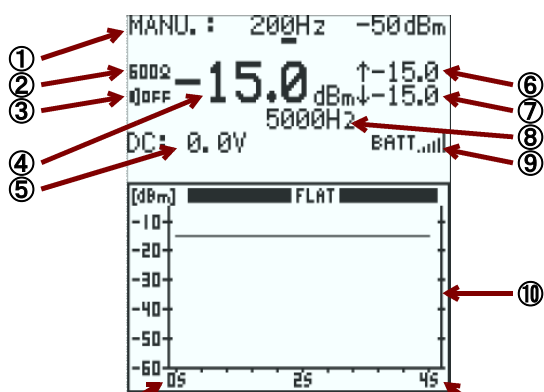


- ① LCDのバックライトの制御が可能
- ② グラフ表示を「電圧値」に変更可能
- ③ グラフ表示を一時的に停止する事が可能
- ④ グラフの時間軸を変更する事が可能

◆「フラット・レベル測定」画面

イニシャル画面後表示される画面で測定値は当該のエリアにリアルタイムに表示します。

SW押下



- ① OSC周波数及びレベル表示 (OSC「ON」状態で表示)
- ② 入力インピーダンス「HIGH/600Ω」表示 「600Ω」
- ③ スピーカ「ON/OFF」表示 「OFF」
- ④ 測定レベル値を表示 -15.0dBm
- ⑤ 直流電圧値を表示 0.0v
- ⑥ レベル最高値を表示 -15.0dBm
- ⑦ レベル最低値を表示 -15.0dBm
- ⑧ 測定周波数を表示 5000Hz
- ⑨ 電源電圧監視表示 「FULL」
- ⑩ グラフ表示エリア

現在時刻
(0sec)

4秒前の時刻
(4sec)

グラフ表示エリアは測定レンジ指定に連動し縦軸の値が変化し、測定レベル値と同時にリアルタイムに表示します。横軸は「セットアップ」で指定した時間軸 (4/8秒) になります。

「4秒」選択時は約40msの変動、「8秒」選択時は約80msの変動を見る事が出来ます。

◆「選択レベル測定」画面

選択レベル測定画面は「CHANNEL UP▲」又は「CHANNEL DOWN▼」SW押下により表示される画面で測定値は当該のエリアにリアルタイムに表示します。

SW押下

なお、選択チャンネル (CH1~CH11) の測定は「CHANNEL UP▲」及び「CHANNEL DOWN▼」SW押下で、以下に示す通り順次設定出来ます。



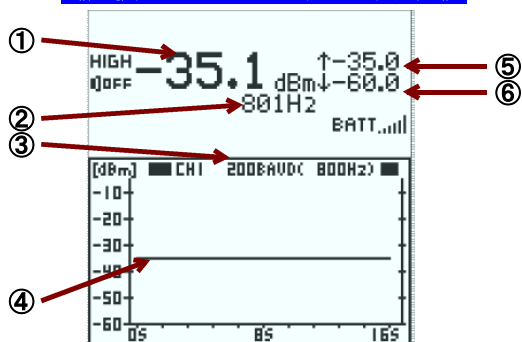
「CHANNEL UP▲」SW押下時

→200Baud CH1 (800Hz) →...→200Baud CH6 (2, 800Hz) →600Baud CH1 (1, 200Hz) →600Baud CH2 (2, 400Hz) →1200Baud (1, 700Hz)

「CHANNEL DOWN▼」SW押下時

200Baud CH1 (800Hz) ←...←200Baud CH6 (2, 800Hz) ←600Baud CH1 (1, 200Hz) ←600Baud CH2 (2, 400Hz) ←1200Baud (1, 700Hz) ←

《選択チャンネル1 (800Hz) 測定》



- ① BPF CH1 (200Baud 800Hz) の測定レベル値を表示 -35.1dBm
- ② 測定周波数を表示 801Hz
- ③ 現在測定しているBPFのCH及び周波数を表示
- ④ グラフ表示値 -35.1dBm
- ⑤ レベル最高値を表示 -35.0dBm
- ⑥ レベル最低値を表示 -60.0dBm

◆「選択レベル・スキャン測定」画面

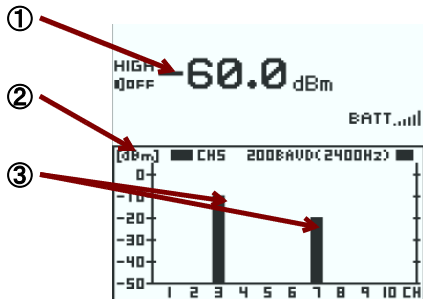
選択レベル・スキャン測定画面は「SCAN」 SW押下により表示される画面で本測定器に搭載された9の選択チャンネル(CH1~CH9)を順次切り替えその測定結果を当該のエリアにリアルタイムに表示すると同時に棒グラフに表示します。

選択レベル・スキャン測定は以下に示す通り順次9の選択チャンネルを行います。



→200Baud CH1 (800Hz)・・・→200Baud CH6 (2, 800Hz)→600Baud CH1 (1, 200Hz)→600Baud CH2 (2, 400Hz)→1200Baud (1, 700Hz)

《選択チャンネル3及び7に信号があった場合》



- ① 現在測定している前チャンネルの値 CH4 (200Baud 2, 000Hz) で-60.0dBm
- ② 現在測定しているBPFのCH及び周波数を表示
- ③ 各CHの測定結果
CH3 (200Baud 1, 600Hz) で約-10dBm
CH7 (600Baud 1, 200Hz) で約-20dBm
他のチャンネルは-60dBm以下
- ④ チャンネルNo.

X軸に表示しているチャンネルNo. は以下のCHを示します。

X軸表示CH	1	2	3	4	5	6	7	8	9
測定CH	200Baud CH1 (800Hz)	" CH2 (1, 200Hz)	" CH3 (1, 600Hz)	" CH4 (2, 000Hz)	" CH5 (2, 400Hz)	" CH6 (2, 800Hz)	600Baud CH1 (1, 200Hz)	" CH2 (2, 400Hz)	1200Baud (1, 700Hz)

■ 便利な発振機能

本測定器の発振器 (OSC) は、「OSC ON/OFF」 SW押下でOSCのON/OFFが制御出来ます。周波数の設定は「FREQ. STEP/MANUAL」 SWで選択後、「▲」及び「▼」 SWで選択します。「FREQ. STEP/MANUAL」 SW押下で以下の通り周波数種別が選択できます。



→「MANUAL」→「STEP1」→「STEP2」→「STEP3」

「STEP 1」に登録された周波数は以下の通りで、「▲」及び「▼」 SWで選択します。

→「0.3kHz」→「0.6kHz」→「0.8kHz」→「1.0kHz」→「1.3kHz」→「1.5kHz」→「1.8kHz」→「2.0kHz」→「2.5kHz」→「3.0kHz」→「3.4kHz」

「STEP 2」に登録された周波数は以下の通りで、「▲」及び「▼」 SWで選択します。

→「0.2kHz」→「0.3kHz」→「0.4kHz」→「0.6kHz」→「0.8kHz」→「1.0kHz」→「1.5kHz」→「2.4kHz」→「3.0kHz」→「3.4kHz」→「3.5kHz」

「STEP 3」に登録された周波数は選択CHの中心周波数周波で、「▲」及び「▼」 SWで選択します。

→「800Hz」→「1200Hz」→「1600Hz」→「2000Hz」→「2400Hz」→「2800Hz」→「1200Hz」→「2400Hz」→「1700Hz」

発振器の出力レベルは「OSC LEVEL」 SW押下で設定出来ます。

「OSC LEVEL」 SW押下後、レベルの設定は「▲」及び「▼」 SWで選択します。



本測定器の発振器機能は、「フラット・レベル測定」、「選択レベル測定」及び「選択レベル・スキャン測定」の全ての測定画面で使用することが可能になっています。また、OSCの出力周波数・レベル設定に於いて「▲」及び「▼」 SWを規定時間押し続けることにより「連続▲」及び「連続▼」の機能が使えますので設定が容易になります。

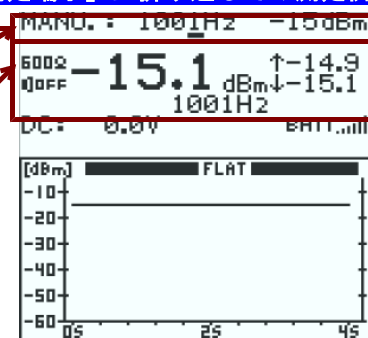
本測定器の発振器 (OSC) は、マニュアル指定で周波数設定が1Hz単位で設定できますので、用途が広がります。

《本測定器の「OSC出力」を「測定端子」に折り返しての測定例 フラット・レベル測定画面》

折り返し
OSC出力端子 → 測定入力端子



OSC出力設定状態
折り返し測定したデータ



■ ピークホールド機能

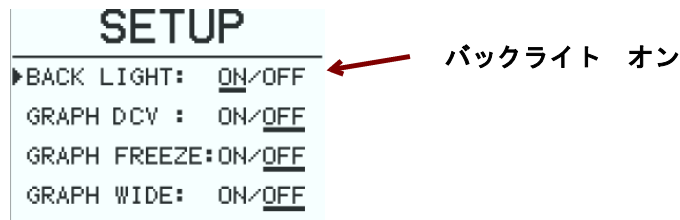
一定時間内に発生した最高・最低値を測定したい事があります。
本測定器では、「PEAK HOLD」SW押下から測定したレベル値の最高・最低値を記録する機能が有りますので常時表示を見なくてよくなりました。



■ バックライト機能

現場では、照明の暗い場所（端子板等の裏側）での作業が多々発生します、この様な時にバックライトをオンにすることにより測定作業が容易になります。

本測定器は、「SETUP画面」にて「BACK LIGHT」を選択し「ON」にカーソルを合わせる事により点灯します。

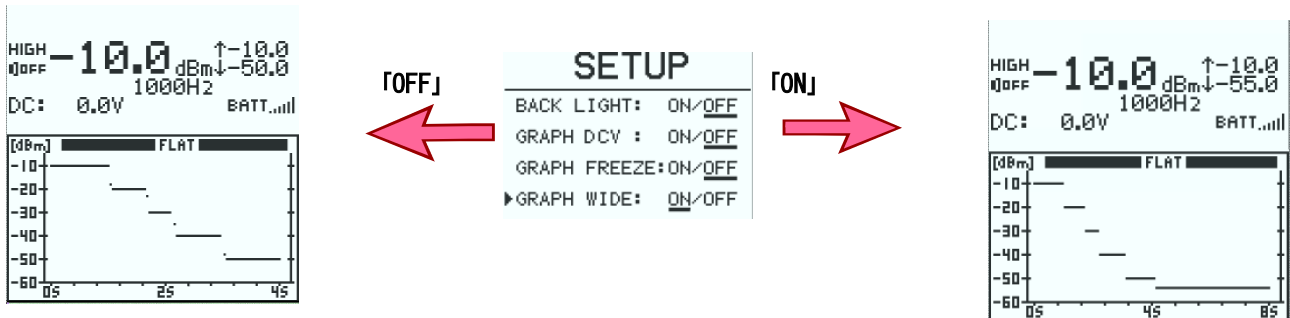


【注】バックライトが点灯中は、消費電流が増えるため使用上の注意が必要です。

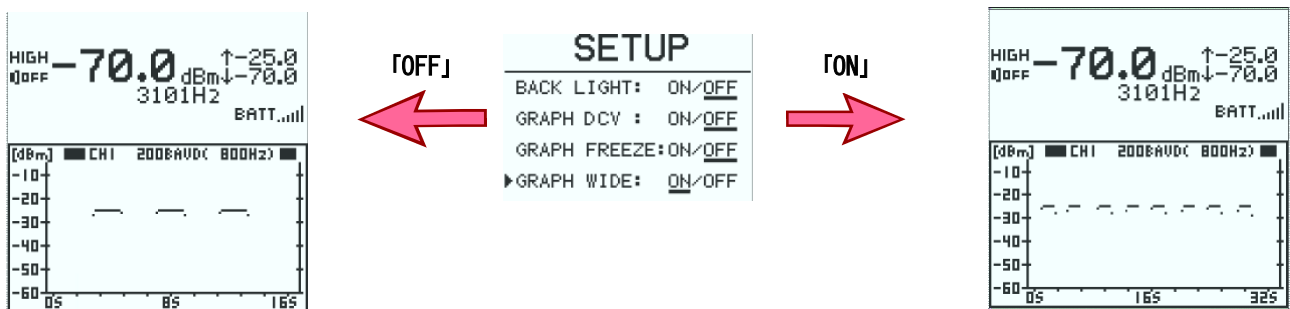
■ グラフ時間軸変更機能

グラフ時間軸の変更は「SETUP画面」にて「GRAPH WIDE」を選択し「ON」にカーソルを合わせる事により、変更する事が出来ます。

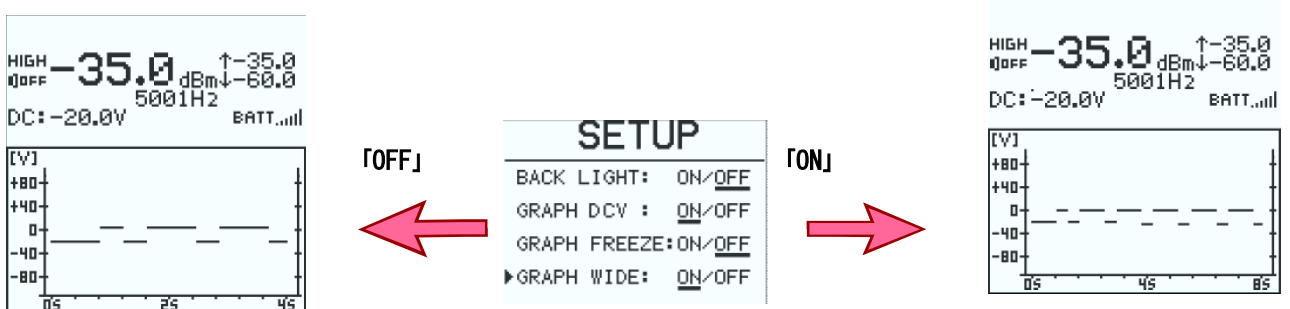
「GRAPH WIDE」を「ON」にて時間軸を8秒に、「OFF」にて時間軸を4秒にします。



選択レベル測定画面も「GRAPH WIDE」を「ON」にて時間軸を3.2秒に、「OFF」にて時間軸を1.6秒に出来ます。



DCVグラフの時間軸も同様に「4秒」又は「8秒」に変更する事が出来ます。

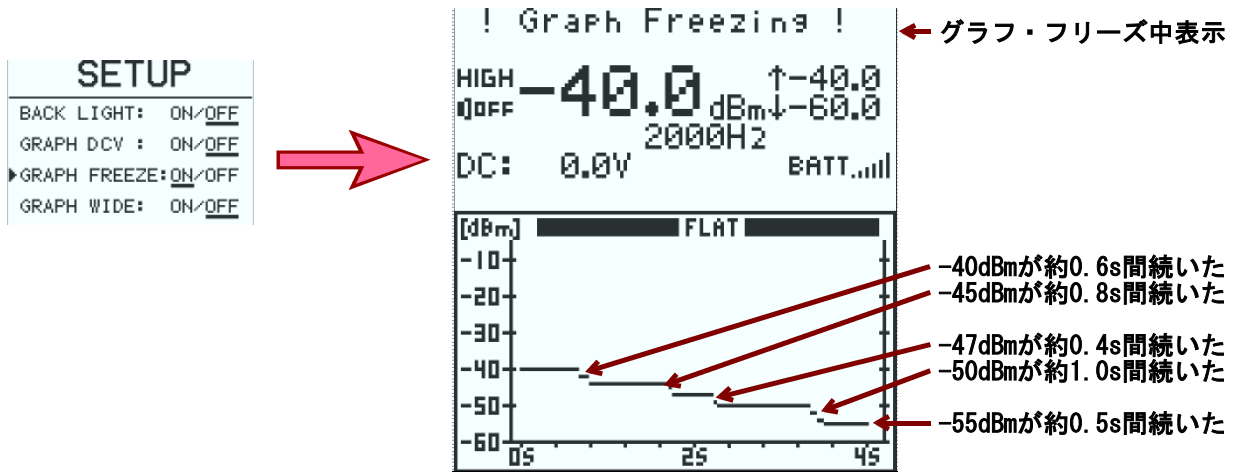


■ グラフ・フリーズ機能

グラフ表示を一時的に停止する機能があります。なお、グラフ・フリーズ中も測定は継続しますので測定値はリアルタイムに更新されます。

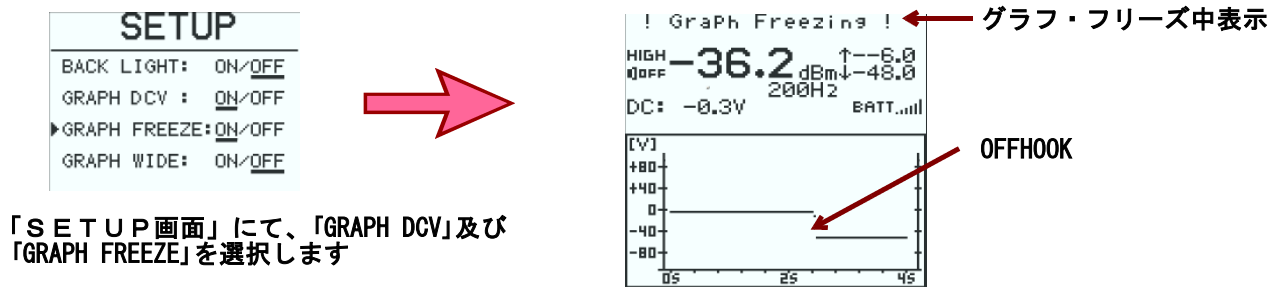
その手順は以下に示す通りです。

- ①「SETUP画面」にて、「GRAPH FREEZE」を選択し「ON」にカーソルを合わせます。
- ②測定画面にてフリーズしたい時「▲」SW押下するとフリーズします。
リリースしたい場合「▼」SW押下でリリース出来ます。

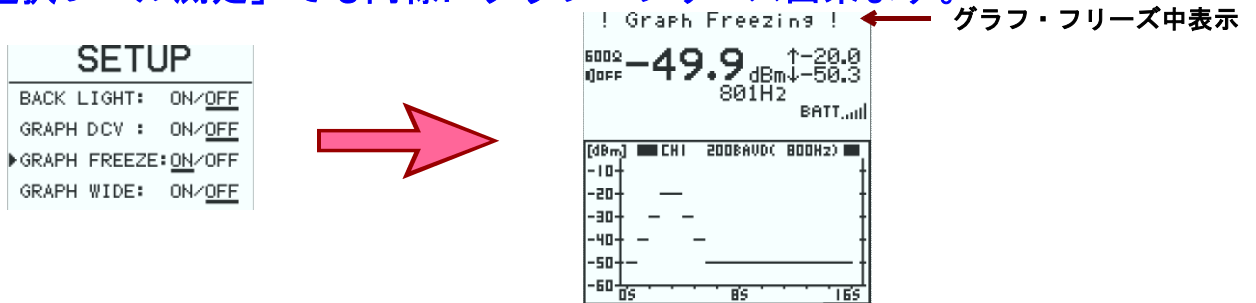


「DCV測定」でも同様にグラフ・フリーズ出来ます。

《加入線にて「OFF HOOK時」測定》

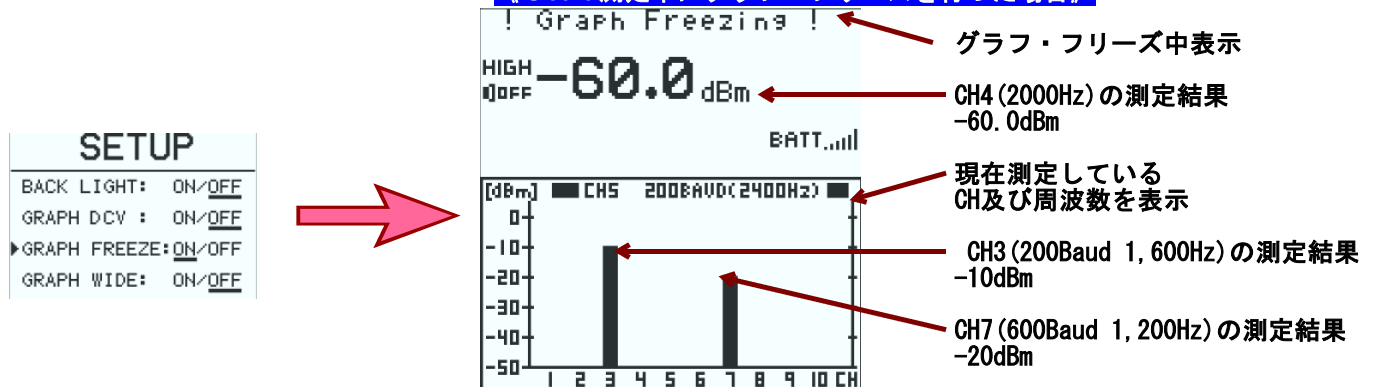


「選択レベル測定」でも同様にグラフ・フリーズ出来ます。



「選択レベル・スキャン測定」でも同様にグラフ・フリーズ出来ます。

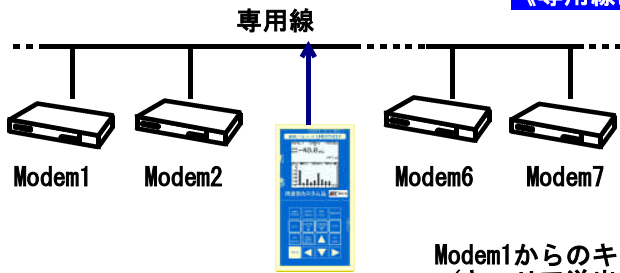
《CH4測定中にグラフ・フリーズを行った場合》



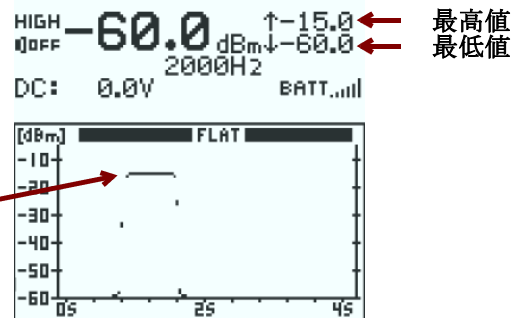
【注】フリーズ機能使用中はOSCは使用出来ません

■ 測定事例（フラット・レベル測定例）

《専用線にてモデムを使用した間欠通信のレベル測定》

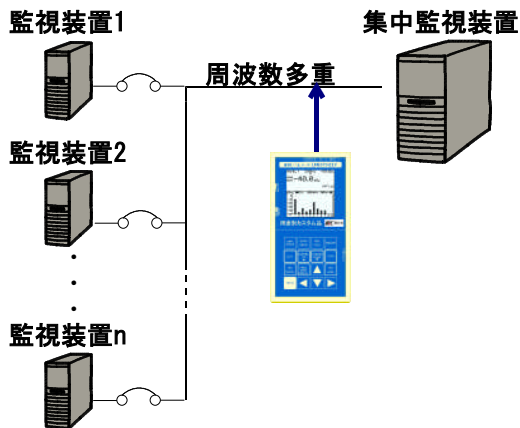


Modem1からのキャリアを捕らえた波形
(キャリア送出時間=約800ms間)



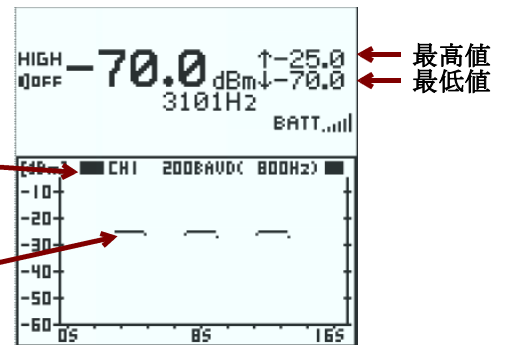
■ 測定事例（選択レベル測定例）

特定の選択チャンネルを測定したい場合使用します。また、特定のチャンネルのレベル変動を見る事が出来ます。



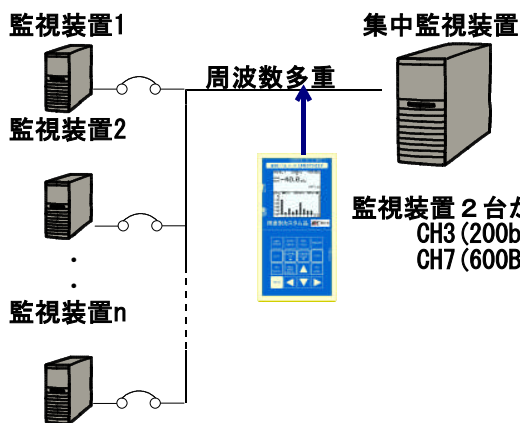
現在測定している
BPFのCH及び周波数を表示

監視装置からの
キャリアを捕らえた波形

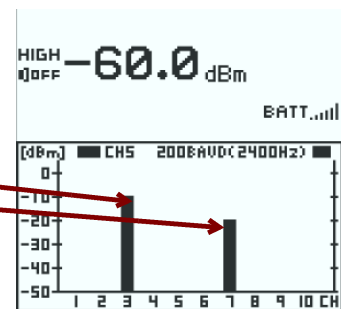


■ 測定事例（選択レベル・スキャン測定例）

選択チャンネルの信号有り無しを簡単に把握できるよう「スキャン機能」搭載しました。

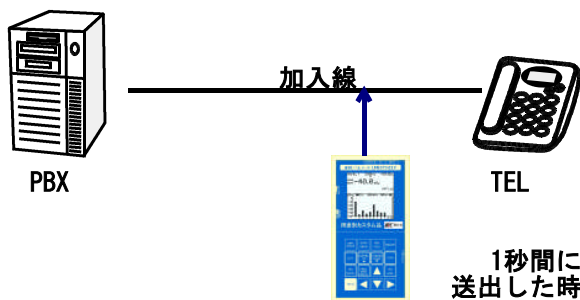


監視装置 2 台からのキャリアを捕らえた波形
 CH3 (200baud 1, 600Hz) 約-10dBm
 CH7 (600Baud 1, 200Hz) 約-20dBm

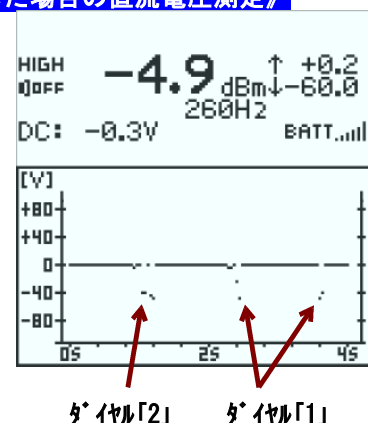


■ 測定事例（直流電圧測定例）

《加入線にて「DP10」設定でダイヤル「112」を送出した場合の直流電圧測定》



1秒間に10パルス（DP10）
送出した時のライン電圧変化を測定。



規 格

レベル計	入力インピーダンス	600Ω平衡 (600Ω±2%以内) HIGH平衡 (50kΩ以上)																
	フットレール測定周波数範囲	200Hz~30kHz (測定範囲外は当該数値の点滅表示)																
	測定レベル範囲	+30~-70dBm (測定範囲外は当該数値の点滅表示)																
	測定・表示周期	測定周期:フットレール測定10ms/選択レール測定40ms 表示周期:約320ms (平均値)																
	分解度・誤差	+30.0~-60.0dBm 分解度0.1dB 誤差±0.5dB以内 -60.1~-70.0dBm 分解度0.1dB 誤差±0.7dB以内																
	選択レール チャンネル中心周波数	200Baud CH1:800 CH2:1,200 CH3:1,600 CH4:2,000 CH5:2,400 CH6:2,800[Hz] 600Baud CH1:1,200 CH2:2,400[Hz] 1200Baud 1,700[Hz]																
	選択レール特性	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>200Baud 260HZ</th> <th>600Baud 460HZ</th> <th>1200Baud 1000HZ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通過帯域幅</td> <td>f0±130Hzにて±0.5dB以内</td> <td>f0±230Hzにて±0.5dB以内</td> <td>f0±500Hzにて±0.5dB以内</td> </tr> <tr> <td>帯域内偏差</td> <td>f0±200Hzにて50dB以上</td> <td>f0±300Hzにて50dB以上</td> <td>f0±600Hzにて50dB以上</td> </tr> <tr> <td>阻止域減衰量</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		200Baud 260HZ	600Baud 460HZ	1200Baud 1000HZ	通過帯域幅	f0±130Hzにて±0.5dB以内	f0±230Hzにて±0.5dB以内	f0±500Hzにて±0.5dB以内	帯域内偏差	f0±200Hzにて50dB以上	f0±300Hzにて50dB以上	f0±600Hzにて50dB以上	阻止域減衰量			
		200Baud 260HZ	600Baud 460HZ	1200Baud 1000HZ														
	通過帯域幅	f0±130Hzにて±0.5dB以内	f0±230Hzにて±0.5dB以内	f0±500Hzにて±0.5dB以内														
帯域内偏差	f0±200Hzにて50dB以上	f0±300Hzにて50dB以上	f0±600Hzにて50dB以上															
阻止域減衰量																		
最大・最低値保持	フットレール測定:PEAK HOLDスイッチ押下後、グラフ表示 WIDE OFF/ON選択時 約40/80ms毎に更新 選択レール測定:PEAK HOLDスイッチ押下後、グラフ表示 WIDE OFF/ON選択時 約160/320ms毎に更新 (測定範囲外は当該数値の点滅表示)																	
最大入力レベル	+35dBm以内																	
発振器	出力インピーダンス	600Ω平衡 (600Ω±10%以内)																
	出力周波数	マニュアルモード:200Hz~30kHz 設定分解度:1Hz ステップ1:0.3,0.6,0.8,1.0,1.3,1.5,1.8,2.0,2.5,3.0,3.4[kHz] ステップ2:0.2,0.3,0.4,0.6,0.8,1.0,1.5,2.4,3.0,3.4,3.5[kHz] ステップ3:0.8,1.2,1.6,2.0,2.4,2.8,1.2,2.4,1.7[kHz] (周波数精度:±0.01%以内)																
	出力レベル	-50~+5dBm 設定分解度1dB (出力レベル精度:±0.5dB以内)																
周波数	測定範囲	200Hz~30kHz (測定精度:±2Hz以内) (測定範囲外は当該数値の点滅表示)																
カウンタ	測定入力レベル	+30~-60dBm 測定周期:約1秒 (入力レベル範囲外は"—"表示)																
直流電圧測定	入力抵抗	インピーダンスHIGH選択時 1MΩ以上																
	測定範囲	-80.0~+80.0v (分解度:0.1v 測定精度:±(2%rdg+2dgt)) (測定範囲外は当該数値の点滅表示)																
	測定・表示周期	測定周期:グラフ表示WIDE OFF/ON選択時 約40/80ms 表示周期:約320ms																
	最大印加電圧	インピーダンスHIGH選択時 ±100v以内																
音モニタ		スピーカ 音量はボリュームにて可変可能																
グラフ表示	グラフ・フリーズ機能	セットアップ画面にて設定可能																
	フラット・レベル	レベル表示範囲: 縦軸 +30dBmレンジ: +30~-20dBm 分解度:1.0dB +20dBmレンジ: +20~-30dBm // +10dBmレンジ: +10~-40dBm // 0dBmレンジ: 0~-50dBm // -10dBmレンジ: -10~-60dBm // -20dBmレンジ: -20~-70dBm // 横軸 WIDE OFF選択時 約40ms/Dot WIDE ON選択時 約80ms/Dot																
	選択レベル	レベル表示範囲: 縦軸 +30dBmレンジ: +30~-20dBm 分解度:1.0dB +20dBmレンジ: +20~-30dBm // +10dBmレンジ: +10~-40dBm // 0dBmレンジ: 0~-50dBm // -10dBmレンジ: -10~-60dBm // -20dBmレンジ: -20~-70dBm // 横軸 WIDE OFF選択時 約160ms/Dot WIDE ON選択時 約320ms/Dot																
	スキャン測定	レベル表示範囲: 縦軸 +6dBmレンジ: +6~-50dBm 分解度:1.0dB 固定レンジ 横軸 チャンネル(CH) CH表示サイクル 約320ms/CH																
	直流電圧	直流電圧表示範囲: 縦軸 +80vレンジ: +80~-80v 分解度:4.0v 横軸 WIDE OFF選択時 約40ms/Dot WIDE ON選択時 約80ms/Dot																
電源		乾電池(充電電池)単3(1.5v or 1.2v)4本 ACアダプタによりAC100V使用可能																
性能保証 温度・湿度		温度:0~40°C 湿度:20~85%(但し結露無き事)																
寸法/質量		寸法:W102×H191×D33mm(突起含まず)/質量:約400g(電池含まず)																

■ 付属品

測定コード PMC373-E01(M1PS-ミノシクリップ 1m)	2本
ACアダプタ PAC373-A06(6v 1A)	1個
本体ケース PWC373-001(ソフトケース)	1個
乾電池 単3	4本
取扱説明書(検査合格証含む)	1部

■ オプション

ACアダプタ PAC373-A06(6v 1A)	¥5,000
測定コード PMC373-E01(M1PS-ミノシクリップ 1m)	¥2,300
" PMC373-E02(M1PS-ミノシクリップ 2m)	¥3,100
" PMC373-E11(M1PS-M1PS 1m)	¥2,800
" PMC373-E12(M1PS-M1PS 2m)	¥3,000

■ 修理・校正等

校正(納期:約3週間)	¥25,000
修理(納期:都度連絡)	¥55,000
修理・校正(納期:都度連絡)	¥70,000

■ 証明書等

試験成績書(納期:約3週間)	¥8,000
校正証明書(納期:約1週間)	¥2,500
トレーサビリティ・チャート(納期:約3週間)	¥3,500

【注】修理に於いては基本修理価格を示し、基本修理を超える修理は別途お見積りもります。
新規購入時に試験成績書が必要な場合は、お申し出ください。

■ 定 価

¥298,000. _ (別途消費税が必要です。)

弊社他機種紹介

フラット・レベルメータ (固定レンズ)

LMF 373-E11

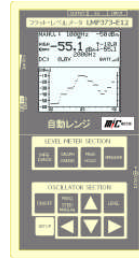


■ 特長

- ◆固定レンズ採用によりメータ式測定器に劣らない応答性を実現。
- ◆回線に重畳した直流電圧を、測定端子の切替を行わず同時に測定。
- ◆測定値の表示は数値表示と時間変化に伴う変動を把握しやすいグラフ表示。
- ◆グラフ表示を一時停止するフリーズ機能。

フラット・レベルメータ (自動レンズ)

LMF 373-E12

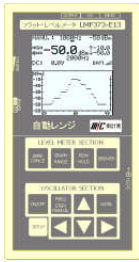


■ 特長

- ◆自動レンズ採用により面倒なレンジ切替操作が不要
- ◆回線に重畳した直流電圧を、測定端子の切替を行わず同時に測定。
- ◆測定値の表示は数値表示と時間変化に伴う変動を把握しやすいグラフ表示。
- ◆グラフ表示を一時停止するフリーズ機能。

フラット・レベルメータ (自動レンズ)

LMF 373-E13

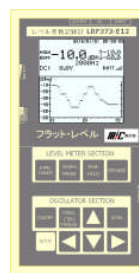


■ 特長

- ◆機能絞り込みにより低価格実現。
- ◆レベル測定範囲 (200Hz~10KHz)
- ◆回線に重畳した直流電圧を、測定端子の切替を行わず同時に測定。
- ◆測定値の表示は数値表示と時間変化に伴う変動を把握しやすいグラフ表示。
- ◆グラフ表示を一時停止するフリーズ機能。

レベル変動記録計 (フラットレベル)

LRF 373-E12

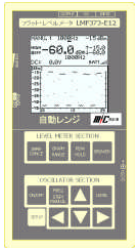


■ 特長

- ◆LMF373-E12に変動記録機能を追加しました。
- ◆レベル変動記録は履歴とグラフ15画面を記録
- ◆レベル変動記録はトリガー値(以上、以下)で記録開始し、間欠障害時のデータを記録
- ◆トリガー値は-60~+20dBmまで1dBm単位で設定可能。
- ◆履歴データとグラフにタイムスタンプ(年月日時分秒)を付加。

フラット・レベルメータ (自動・固定レンズ)

LMF 373-E12A

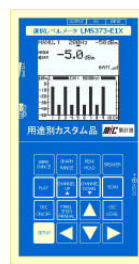


■ 特長

- ◆自動・固定レンズ採用によりポーリング信号の各レベルが70dB式レベル計を上回る応答が可能
- ◆回線に重畳した直流電圧を、測定端子の切替を行わず同時に測定。
- ◆測定値の表示は数値表示と時間変化に伴う変動を把握しやすいグラフ表示。
- ◆グラフ表示を一時停止するフリーズ機能

選択レベルメータ (信号伝送用)

LMS 373-E11

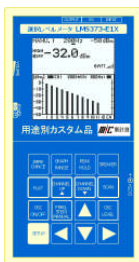


■ 特長

- ◆信号伝送に必要なBPFを9CH搭載
- ◆選択レベル/フラットレベル 1台2役
- ◆測定値の表示は数値表示と時間変化に伴う変動を把握しやすいグラフ表示。
- ◆CH信号を一括表示する棒グラフ採用
- ◆グラフ表示を一時停止するフリーズ機能。

選択レベルメータ (TM・TC高群用)

LMS 373-E12

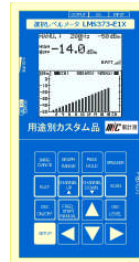


■ 特長

- ◆TM・TC高群(200~1200Baud)に必要なBPFを11CH搭載。
- ◆選択レベル/フラットレベル 1台2役。
- ◆測定値の表示は数値表示と時間変化に伴う変動を把握しやすいグラフ表示。
- ◆CH信号を一括表示する棒グラフ採用。
- ◆グラフ表示を一時停止するフリーズ機能

選択レベルメータ (沿線情報用)

LMS 373-E13

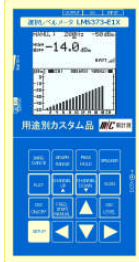


■ 特長

- ◆沿線情報に必要なBPFを12CH搭載。
- ◆選択レベル/フラットレベル 1台2役。
- ◆測定値の表示は数値表示と時間変化に伴う変動を把握しやすいグラフ表示
- ◆CH信号を一括表示する棒グラフ採用。
- ◆グラフ表示を一時停止するフリーズ機能

選択レベルメータ (TM・TC低群用)

LMS 373-E14



■ 特長

- ◆TM・TC低群(50Baud)に必要なBPFを18CH搭載
- ◆選択レベル/フラットレベル 1台2役。
- ◆測定値の表示は数値表示と時間変化に伴う変動を把握しやすいグラフ表示
- ◆CH信号を一括表示する棒グラフ採用。
- ◆グラフ表示を一時停止するフリーズ機能

選択レベルメータ (70dB列車無線用)

LMS 373-E16



■ 特長

- ◆70dB列車無線のメンテナンスに必要なBPFを6CH(107.2Hzを除く)搭載。
- ◆選択レベル/フラットレベル 1台2役。
- ◆測定値の表示は数値表示と時間変化に伴う変動を把握しやすいグラフ表示
- ◆CH信号を一括表示する棒グラフ採用。
- ◆グラフ表示を一時停止するフリーズ機能

アクセサリ ご案内

レベルメータのアクセサリとして以下機種を用意しております。

==== ACアダプタ ====

- ・ PAC373-A06 (6v 1A)



定価 ¥5,000. (別途消費税が必要です。)

==== ソフトケース ====

- ・ PWC373-001



定価 ¥500. (別途消費税が必要です。)

==== 測定コード ====

- ・ PMC373-E01 (M1PS-ミノムシクリップ° 1m)



定価 ¥2,300. (別途消費税が必要です。)

- ・ PMC373-E02 (M1PS-ミノムシクリップ° 2m)



定価 ¥3,100. (別途消費税が必要です。)

- ・ PMC373-E11 (M1PS-M1PS 1m)



定価 ¥2,800. (別途消費税が必要です。)

- ・ PMC373-E12 (M1PS-M1PS 2m)



定価 ¥3,000. (別途消費税が必要です。)

用途別選択レベル計のご案内

市販品では満足できないお客様の用途に合わせた選択レベル計製作致します。
 諸元指定を記入の上「FAX.」又は「メール」にてお送り下さい。
 製作可否を含め検討致します。 納期は約2ヶ月です。

■ 諸元指定

諸元は以下に示す(1)～(6)項の通りです。 青色の項目を記入願います！

- (1) 接続形態……………平衡(バランス)のみの接続形態です。
- (2) 入力インピーダンス……………入力インピーダンスは600Ω(Low)で 50kΩ以上(High)
- (3) フラット帯域……………フラット帯域周波数は200Hz～30kHzです。
- (4) 測定レンジ……………オートレンジ切り替えを採用しておりますので最適なレンジで測定します。
- (5) 選択CH数
 最大10CHに必要なCH数をご指定下さい。 CH数 (CH)
- (6) CH中心周波数をご指定下さい。

CH No.	中心周波数 [f0]	通過帯域幅 [±Δf]
CH 1	(Hz)	(Hz)
CH 2	(Hz)	(Hz)
CH 3	(Hz)	(Hz)
CH 4	(Hz)	(Hz)
CH 5	(Hz)	(Hz)

CH No.	中心周波数 [f0]	通過帯域幅 [±Δf]
CH 6	(Hz)	(Hz)
CH 7	(Hz)	(Hz)
CH 8	(Hz)	(Hz)
CH 9	(Hz)	(Hz)
CH 10	(Hz)	(Hz)

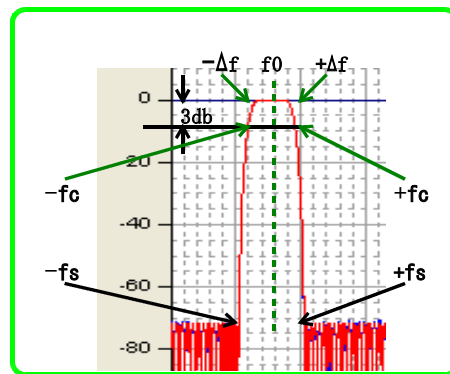
- (7) 帯域内偏差……………±0.5dB以内です。
- (8) 阻止域減衰量……………50dB以上です。

■ 選択特性

BPF (バンドパスフィルタ) の特性は一般的に右図に示す特性となります。

この特性より「通過帯域幅」、「帯域内偏差」、「遮断周波数」、「阻止域減衰量」が決定されます。

- ・ 通過帯域幅 : ±Δf
- ・ 帯域内偏差 : ±0.5dB以内
- ・ 遮断周波数 : ±fc
- ・ 阻止域減衰量 : ±fsにて50dB以上



■ 概略予算

用途別選択レベル計の概略予算は以下の通りです、参考にして下さい。

総額=150,000円(本体価格) + 20,000円(BPF設計費/CH)

◎仕様及び外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。
 MIC150028Q



本社 〒238-0111 神奈川県三浦市初声町下宮田865-27
 横須賀事業所 〒238-0014 神奈川県横須賀市三春町5丁目4
 第2サトウコーポ101
 TEL. 046-822-2660 FAX. 046-854-7110
 http://373-keisoku.jp/
 E-mail: user_support@373-keisoku.jp

お問い合わせは